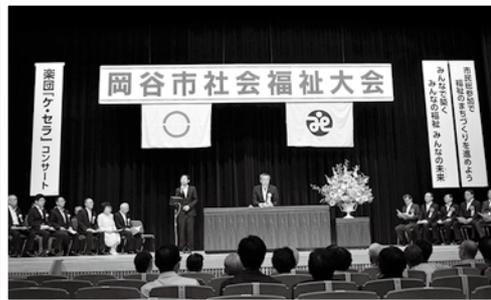


# 平成30年度 岡谷市社会福祉大会 開催

今年の岡谷市社会福祉大会は、7月21日(土) カノラホールに於いて開催されました。「みんなで築く、みんなの福祉、みんなの未来(あした)」を主テーマに、約400人のみなさんに参加していただきました。

式典では、長年にわたり社会福祉事業に貢献された方々に表彰状が、多額の寄付金・物品寄付をいただいた方々には感謝状が贈呈されました。



続いて、楽団「ケ・セラ」のコンサートをお楽しみいただきました。

NPO法人ケ・セラは、松本市を拠点に障がいのある方が音楽を通じて社会的な自立を目指すことを目的として、平成14年から活動を始めた団体です。

音楽が大好きな楽団メンバーによる演奏は、**演奏や頑張る姿に感動しました。**

**明るく頑張っている姿がでていてとても良かった。**など大変好評でした。



## 市民憲章唱和

岡谷西部中学校3年花岡開史さんの前文朗読に続き、参加者全員で市民憲章唱和を行いました。



## 福祉事業所部品販売ブース

ホワイエでは、「希望の里つばさ」「ケ・セラ」「ひだまりの家」のみなさんに、日頃制作している作品等の販売を行っていただきました。ご協力いただいた皆さん、参加者の皆さんありがとうございました。



## “地域の宝物”のパネル展示

岡谷市内にあるさまざまな活動やつながりを“地域の宝物”としてパネル展示し紹介しました。



## 平成30年7月豪雨災害義援金のご協力をお願いしました。

**28,674円**集まりました。

ご協力ありがとうございました。

当日は、共同募金キャラクターの「あいちゃん」も大会へ駆けつけました。

## 岡谷市共同募金委員会会長表彰

共同募金に多額のご寄付をいただいた方々を代表して、岡谷市仏教婦人連合会様に壇上でお受けいただきました。



## 主な内容

### CONTENTS

平成30年度岡谷市社会福祉大会開催

18・19

スローガン  
みんなで築く  
みんなの福祉  
(あした)  
みんなの未来

●発行・編集●  
岡谷市社会福祉協議会  
〒394-0081  
岡谷市長地権現町4-11-50  
☎ 24-2121  
☎ 24-3555  
\*  
ホームページアドレス  
www.okaya-shakyo.or.jp  
\*  
メールアドレス  
info@okaya-shakyo.or.jp

## 福祉事業に貢献された個人・団体に表彰状・感謝状(敬称略)

- ◇社会福祉事業特別功労者  
小口洋次郎 高林 千幸 古畑 利江
- ◇社会福祉事業協助者  
小島 利彦
- ◇褒賞(個人)  
太田 富男 澁井三千雄 小口 雄平  
味澤 勝義 丸山 勇 笠原 令子  
小口 光子 小口 秀子 小口 敦子  
横田 明子 古澤 幸子 辻 信子  
鮎澤加根子 米山さなえ 永井 節子
- ◇福祉基金感謝状(遺志金)  
小松 正典
- ◇福祉基金感謝状(寄付金)  
(有)美よう室 湖畔 財団法人岡谷市ダンス協会  
(株)笠原書店 東堀星桜会
- ◇岡谷市ボランティアセンター感謝状(物品)  
信越地方郵便局長会南信北地区会岡谷部会  
(株)三公商事 青木 秀
- ◇長野県共同募金会  
岡谷市共同募金委員会会長感謝状(団体)  
岡谷市仏教婦人連合会  
税理士法人 三澤会計  
みさわ財産コンサルティング 株式会社  
諏訪労務管理センター 社員一同  
宗教法人真如苑 岡谷支部  
京セラ株式会社 長野岡谷工場 従業員一同  
(株)岡谷中部建設 (株)日本ピスコ 従業員一同  
ボイスアウト岡谷第1団  
ボイスアウト岡谷第2団  
TPR労働組合 TPR帝友会  
TPRトータルサービス労働組合  
絹の郷労働組合
- ◇東日本大震災等ボランティア活動支援金  
長野県共同募金会岡谷市共同募金委員会会長感謝状  
岡谷せせらぎ会

### 謝辞

社会福祉事業特別功労賞受賞の高林千幸様に受賞者を代表して、お礼のことばをいただきました。



### 褒賞

長年ボランティア等で、地域福祉にご尽力を頂いた方々を代表して太田富男様に壇上でお受けいただきました。



## 平成30年度 岡谷市社会福祉大会 大会宣言

1 自らが「暮らしたい地域」を考え実現するための取り組みを広げましょう。

地域の主役は住民であり、地域のことを一番知っているのもそこに暮らす住民です。

自分や家族が暮らしたい地域を実現するために、全ての住民が主体性を持って話し合い、協働して地域づくりに取り組むことが大切です。

1 全ての人々が役割を持ち、身近な地域の活動に参加しましょう。

地域のあらゆる住民が、顔の見える身近なところで役割を持ち、気づき、支え・つながり合いながらボランティア活動を実践するなど、自分らしく活躍できる地域になること、また、そのような地域の活動に参加することが求められています。

1 困難を抱えている人を受け止め、支援する地域づくりを進めましょう。

子どもも成人も、障がいのある人も

ない人も、表に出にくい生活課題に早期に気づけるのは地域に暮らす住民です。さまざまな課題をまずは受け止め、相談に乗り、必要に応じて専門職につなぐなど、身近な地域で支援することが大切です。

1 地域全体で、子ども、若者を育み成長を支える環境を作りましょう。

子ども、若者の育成支援は、地域社会全体で取り組むべき課題です。地域の無理解・偏見を取り除き、よき理解者となり、地域、学校等が協働して、すべての子ども、若者が持てる能力を活かし自立、活躍できる地域づくりが重要です。

1 地域の防災力を高めましょう。

「自助」「互助」「共助」「公助」の理念の下、普段からの支え合い、助け合い活動を活かした防災・災害時救援組織づくりが地域の防災力を高めます。